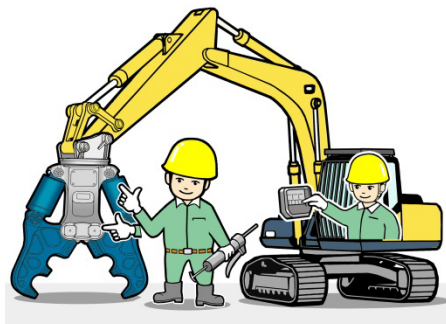


# 大割圧碎機をうまく使うポイント

## ● 作業前点検を必ず行う！



作業の開始前および終了後には、必ず各部点検を行う。(油漏れ、ボルトのゆるみ、油圧ホースの傷、各部へのグリスアップなど) 作業中は2~3時間ごとにグリスアップしてください。

## ● ストロークエンド作業の注意！



油圧シリンダがストロークエンドの状態では思わぬ外部の力でロッドの曲りやロッドの抜け、リンクの曲りなどの破損事故につながります。

## ● こじり作業はしない！



バケットシリンダがストロークエンドの状態、柱や梁などを噛んだままブームまたはアーム操作をしない。(こじり作業をしない) 圧碎機も油圧ショベルも壊れることがあります。

## ● 横方向の作業は要注意！



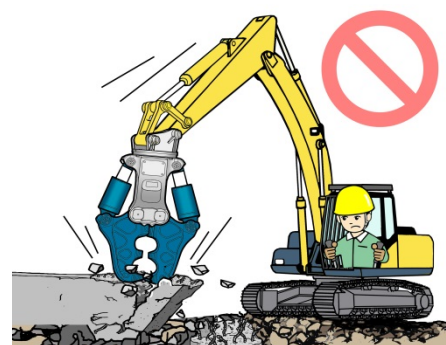
履帯に対してブームが横向きでの作業は安定性が悪く、油圧ショベルが浮き上がったり、転倒する恐れがあります。また、すみやかな回避ができない危険があります。

## ● 作業領域への立入禁止！



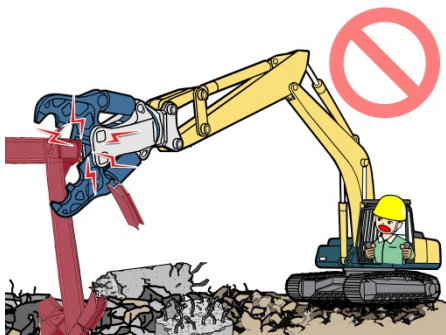
圧碎機の作業範囲と油圧ショベルの作業領域は立入禁止です。旋回するときはホーンを鳴らして周りの人に合図し、周囲や頭上の障害物に注意してください。

## ● 破砕物に叩きつけない！



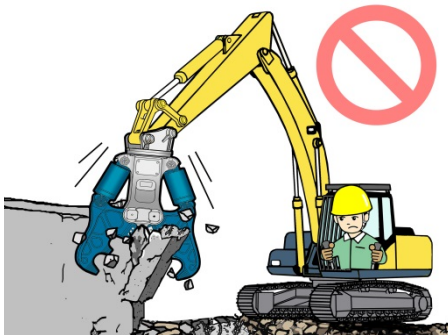
圧碎機を叩きつけることは、破砕片が飛来したり、圧碎機、油圧ショベルが壊れることがあります。

## ● 焼入れボルトを切断しない！



焼入れボルト、ステンレス、ワイヤー、高張力鋼板など、熱処理した材料は切断しないでください。

## ● カッター刃で圧碎しない！



カッター刃でコンクリートの破砕作業をしないでください。カッター刃が摩耗し、鉄筋が切れなくなります。

## ● 不安定な場所での作業禁止！



不安定な場所での作業は危険です。作業現場や走路は平坦に整地してください。建物内での作業は床の強度を点検し、十分安全であることを確認し、床の崩落に注意が必要です。

## ● ジャッキアップをしない！



圧碎機を押付けてジャッキアップしての方向転換は、無理な力が発生し双方の故障や事故を引き起こすことがあります。

## ● クレーン作業は禁止！



圧碎機によるクレーン作業は禁止です。圧碎機のフックは、圧碎機本体の運搬・積込み用ですので使用禁止です。

## ● 水や泥の中の作業はダメ！



水中での作業は、圧碎機および油圧ショベルの重大な故障につながります。